

全生連の中央行動でえんど久子厚生労働省と話し合い 生活破壊は許さない



厚生労働省に国保税や医療費などの実態を訴えるえんど久子。
国会内の会議室にて
2015. 11. 26.

61年の歴史を持つ全国生活と健康を守る会（全生連）は、毎年厚生労働省など各省庁と年2回の話し合いを持ち、国民の暮らしを守ろうとがんばっています。えんど久子は別府市生活と健康を守る会の会長として、11月25・26日、全生連の中央行動に参加しました。

全生連は年2回国と交渉

5班に分かれて行動しましたが、えんど久子は、国民健康保険・年金・医療・介護の班に参加。国民健康保険の問題では「国の負担引き上げは困難」との回答でしたが、えんど久子は「別府市の国保税は1人世帯の場合、所得100万で18万8500円、200万で35万2700円、300万で51万6900円。国保税を払ったらご飯が食べられないとの声がある。国の負担を増やすすしかない」と訴えました。

全国各地の参加者も切実な実態を訴え、厚労省の担当者は「厳しいというのは認識している。現状を聞かせてもらい、課内で共有したい」と答えました。

国保税を払ったら暮らせん



左からえんど久子・真島省三衆議院議員・平野ふみかつ市議。国会議事堂前にて。 2015. 11. 24.

別府市
生活と健康を守る会

別府市立田町1-3
TEL0977-23-8643
2015.12.22.

声を上げることで要望が実り 医療費の負担が軽くなりました

自己負担限度額が引き下げに

医療費の負担を軽く、高額療養費の自己負担限度額を引き下げたことをこれまででも求めてきましたが、今年1月から改善されたとの回答がありました。「70歳未満の方の年収370万以下の方の限度額を8万1000円から5万7600円に下げるなど3段階を5段階に細分化した」との回答でした。

地道に会員さんが自身の生活実態を訴えるなど力をあわせて要望してきた成果です。

介護サービスが間に合わない

介護の問題では、「認定までに1カ月近くかかりその間に悪化した」という実態が訴えられました。返答は「緊急の場合は認定を受けていなくてもサービスを受けることができるというもののでげんじょうではその対応に市町村により格差があるため、しっかりお知らせするよう求めました。

中央行動には、全国から延べ280人が参加。戦争法を廃止に追い込み、国民の人間らしく生きる権利を守ろうと声を上げました。

えんど久子は、11月24日には真島省三衆議院議員と平野ふみかつ市議と地熱バイナリ―発電の問題で経済産業省などと話し合いました。

今後ともみなさんと力をあわせてがんばります。



全国の生活と健康を守る会の会員さんとともに厚生労働省の担当者（左端）に訴えるえんど久子。医療費助成制度の問題では、使いやすく立て替え払いがいらぬ現物給付に地方が改善しやすいように、国保の国庫負担を減額するのはやめるべきと強く求めました。

国会内にて 2015. 11. 26.